



激変するグローバル経済環境を乗り切るために

取締役副社長

田中 延幸

山陽特殊製鋼技報第19巻の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2012年度は、既にスタートをしております第8次中期経営計画の中間年度に当たります。
第8次中期経営計画の経営基本方針は、

「高信頼性鋼の山陽」のブランド力の更なる向上による企業価値の増大

- ・ 技術先進性の拡大 「先の先へ」
- ・ 国際競争力の更なる強化
- ・ 当社各部門及びグループ会社の更なる連携強化による総合力の向上

の実践であります。

現下の日本経済の状況は、2008年に発生した「百年に一度の危機」、所謂、リーマンショックを経て、更に昨年、東日本大震災という原発事故を含む甚大な被害を被った災害を経験し、極めて厳しい状況に置かれています。目下、東日本大震災の復興に向けて、官民を挙げて取り組んでいるところであります。

然しながら、震災前から「五重苦」と呼ばれる経営環境の悪さに、更に、電力供給不足が加わり「六重苦」という状況に陥っています。

一方、世界の経済は、BRICs、ASEAN等新興国の発展による世界経済の多極化、円高、更には欧州における金融危機等、極めて不安定な状況にあります。

激変するグローバル経済環境を乗り切るために、当社は、これらの変化を危機と捉えるとともに大きなチャンスと捉え、国内外でビジネスを展開する需要家皆様のニーズを的確に把握し、非価格競争力のある製品を積極的に供給するため、中国・インド・ASEANを中心とした海外拠点の整備を行い、技術先進性の拡大、即ち、コア技術である「高纯净度鋼製造技術」の先進性を更に高め、高度な品質保証技術との連携で、素材メーカーとしてのポテンシャルを高め、需要家皆様方の競争力向上に貢献してまいります。

当社グループは、主として国内で発生する鉄スクラップをリサイクルし、製品を製造することにより、循環型社会の形成に貢献しておりますが、その製品群の一つとして、風力発電用の大型軸受用鋼等、低炭素社会を支える高機能商品群を整備し、需要家の皆様に提供することで、より一層、低炭素社会の進展に貢献してまいり所存であります。

また、第8次中期経営計画の実現を通じて、特殊鋼メーカーとして、品質、納期、技術、省資源を追求し、その製品が需要家皆様方の高品質、省エネ、省資源に資する商品、新商品開発の実現のベースとなるように営業、開発、生産、その他グループ会社含めた全部門一丸となって努力してまいります。

今後とも皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。